



発行元  
平成30年10月 発行  
第36号  
社会福祉法人 亀鶴会  
**偕楽園**  
特別養護老人ホーム偕楽園  
〒874-0904  
大分県別府市南荘園町25組  
TEL: 0977-22-2515

名前: えんちゃん  
犬種: トイプードル  
性別: 男の子

# 100歳記念式典



プロフィール  
藤島タツ様  
大正7年8月29日生まれ

9月4日、藤島タツ様の百歳記念式典が開催されました。式典には、長野市長が来園され、表彰とお祝い金の贈呈を行いました。

藤島様は、若い頃からお世話好きで、どなたにも声をかけられ、偕楽園に入所されてからも他の方への気遣いをされる優しいお人柄。長野市長から、お祝いの言葉に続いて、「長生きできたのは、すべての人に『ありがとう』と言える藤島様の人柄とご家族の温かい見守りがあったからでしょうね。」とお話いただきました。ご家族も式典に参加いただき、「皆さんのおかげで、母も長生きできていると思います。ありがとうございます。」とお礼の言葉を述べられました。

偕楽園では、百歳以上の方が3名となりました。これからも利用者の皆様元気で百歳を迎えられるよう、支援してまいります。

また、式典に先立ちユニットで誕生日会を行いました。これからも益々お元気で過ごされ、何時までも変わらぬ笑顔が見られるよう、スタッフ一同、心から願っています。



偕楽園での様子をアルバムに収めて、お渡ししました。



職員が選んだプレゼントは、オルゴール（星に願いを）。大変喜ばれ、沢山の感謝の言葉をいただきました。

## 夏祭り



8月18日、グループホームとの合同夏祭りを開催しました。猛暑が続いた今年は、会場を屋内に設営して行いました。当日は、浴衣姿の利用者の皆様と職員で園内がとて華やかになり、お祭りムード一色となりました。屋台では、カキ氷や焼きそば、ミルクせんべいなどを用意し、お好みのものを召し上がって頂きました。

また、供養盆踊りでは、お部屋で過ごしている利用者の皆様にも中庭やホールでの盆踊りの様子をご覧いただき、雰囲気味わっていただきました。利用者の皆様の沢山の笑顔を見ることが出来て、楽しい夏祭りとなりました。

## 小梅ユニット紹介

小梅ユニットでは、質の高いケアの提供をユニットの目標として、利用者9名の皆様に、より質の高いチームケアを実践できる様スタッフ一同日々技術の向上に努めています。

高齢のご利用者が多いユニットでもあるので、普段から体調管理には十分に注意し、日常の僅かな変化も見逃さず、より快適な施設生活を送れるよう取り組んでいます。

また、単にサービスを提供するだけでなく、ご利用者との関わりも大切にしています。ご利用者の生活スタイルは、それぞれです。元気で積極的な方とは共同スペースで談笑したり、自室で静かに過ごすことを好まれる方には、お部屋にお邪魔してゆっくり会話をしたりと、その様な機会を設けることが、徐々に互いを知るきっかけにもなり、それが質の高いケアに繋がると考えています。

こちらは、食事前の口腔嚥下体操を行っている様子です。職員の動きに追いつかず笑い出だしてしまう方、また、普段静かな方がしつかり体を動かす姿には、少し驚かされたりします。



## 金木犀ユニット紹介

金木犀ユニットでは、利用者の皆様それぞれのペースに合った生活が送れる様、サポートさせていただいています。ひとりひとりの起床時間に合わせた朝食の提供、また、日中は共同スペースで他のご利用者とおしゃべりを楽しむ方、塗り絵や作品に取り組みむ方、お部屋でラジオを視聴される方など、過ごし方は様々ですが、皆様が有意義な時間を過ごしていただける様、できる限り個別で対応する様に心がけています。



『紅葉』と『お地藏様』



8月29日、金木犀ユニットと合同で、カキ氷を作りました。ふんわりとした氷の上に、練乳やシロップをお好みの量かけて、美味しそうに召し上がっていらっしやいました。ご利用者、職員共に身体の火照りがとれ、暑さも吹き飛ばす楽しい行事となりました。

多くの方が認知症を患っているため、時間が過ぎれば関わりや記憶が薄れてしまいます。それでもその瞬間は間違いなくその時を生きています。一時の間隔が、少しでもご利用者の人生に色を添えることができればと思い、日々の活動に取り組んでいます。

## えんちゃん日記

えんちゃんが、施設にやってきました。早いもので2年になります。家庭から施設へ、家族の元を離れ、さぞかし不安だった事と思います。今では、施設での生活にすっかり馴れて、楽しく過ごしている様です。これからもよろしくお願ひします。



夏祭り終了後、お疲れのえんちゃん

## 敬老会

9月14日(金)、敬老会を行いました。長野市長による敬老祝賀訪問が行われ、祝辞を頂きました。続いて、別府市から、お祝いの品を頂き、ご利用者の代表が、お礼の言葉を述べられました。



9月20日に小梅ユニットと合同で、誕生日会を行いました。誕生日の方の紹介に続いて、バスデーソングの合唱、プレゼント贈呈、そして、食事会を行いました。食事会では、ユニット職員が手作りの巻き寿司とヨーグルトムースを召し上がっていただきました。アットホームな雰囲気の中、普段の食事よりも沢山たくさん召し上がる様子も見られました。会の終りには、「今日は楽しかったわあ。」「ありがとうございます。」「等の言葉が聞かれ、私たち職員も幸せな気持ちになりました。」

今後ともご利用者の皆様が快適な生活を送れるように小さな変化を見逃さず、日々の生活をサポートさせていただきます。

特別養護老人ホーム  
TEL:22-2515 FAX:22-2516

グループホーム  
TEL:22-5553 FAX:22-5554

社会福祉法人 亀鶴会  
**偕楽園**

居宅介護支援事業所  
TEL:85-8561 FAX:22-5554

ヘルパーステーション  
TEL:75-8816 FAX:22-5554

外部研修報告

●社会福祉施設等中堅職員研修会  
介護職員 一宮孝太

7月3日から4日の2日間行われた「社会福祉施設等中堅職員研修会」に参加し、2日間で4つの講義を受けました。

○業務課題の解決と実践研究

職場の問題解決にあたり利用者一人ひとりに寄り添った姿勢で問題を正確に把握し、中堅職員としての「あるべき姿」を明確に意識して目標を設定し解決策を実行することの意義と方法

○リスクマネージメント

福祉サービスにおけるリスクマネージメントの視点を理解するとともに、「コンプライアンス・継続的なサービス提供の必要性」について、また、リスクマネージメントにおける記録の書き方

○チームアプローチと多職種連携・地域協働

チームアプローチにおける中堅職員の役割やケアマネジメントについて理解し、個人間、チーム間の葛藤を解決し、連携を深めるための手法、また関係機関のキーパーソンとのつながりをつくるポイントについて、地域の中の連携、協働に必要な専門知識

○組織運営管理

コンプライアンスについて再確認しながら中堅職員として必要な人事管理、労務管理等の基本的知識を理解し、法人・事業所を取り巻く環境と提供するサービスとの関連について学ぶ

講義では全てグループワークを取り入れ、それぞれグループ内で、初めて関わる他事業所の方と議論し、意見を出し合いながら行いました。この2日間の研修会を通じて、中堅職員としてのチーム内での立ち位置や役割、求められる姿とはどういったものであるかを具体的に学ぶことができました。特に「チームアプローチと多職種連携・地域協働」の講義で、講師の方が仰っていた「中堅とは単に年数や経験だけでなく、今後そのグループの中核を担うことができる人材であるか」ということである」という言葉が強く印象に残りました。今回の研修会で学んだことや習得したノウハウを実際の介護の現場で生かせるよう積極的に実践していきたいと思っております。

●高次脳機能障がい支援者基礎研修会  
介護支援専門員 金田 勝

8月3日に日出町保健福祉センターにて行われた高次脳機能障がい支援者基礎研修会に参加しました。

高次脳機能障害とは、

脳の病気や事故などによる頭のケガ（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症、びまん性軸索損傷、脳挫傷、外傷性脳出血）により、脳の機能が障害を受け、さまざまな症状を引き起こすものです。例えば、物を覚える、気持ちを抑える、目的を持って物事を遂行する、などが上手く行えなくなってしまう状態で、日常生活を送ることが難しくなる場合もあります。具体的な症状は、言葉が出づらく言いたいことが言えない、うまく発音できない、物の理解がうまくできないなど、言葉に関連した障害や記憶力が衰え、うっかりミスが増える。また、食事を摂ったかどうかを思い出せないなど記憶に関連した障害なども見られるということでした。高次脳機能障害は、外見上は障害が目立たない、本人自身が障害を十分に理解できていないことがある、障害（症状）は時間や疲労、環境・状況によって著しく変化するなどの特徴もあります。



このようにさまざまな症状がある高次脳機能障害ですが、研修の中ではそれぞれの症状への対応方法など詳しく説明がありました。研修の最後に、障害特性は十人十色、支援も十人十色。周囲の支援者、家族、仲間の理解が最大のリハビリテーションであると言われました。十人十色という個性は、介護の現場で業務にあたる私たちも利用者一人ひとりの思いを理解して、その方にあった支援をして行くことなど通じるものがあると感じました。今回の研修は、高次脳機能障害の基礎知識を学ぶと共に普段の業務の再確認が出来る研修となりました。



お知らせ

『もみじ祭り開催決定』

日時 十一月十日（土）

十一時より

場所 偕楽園敷地内

楽しい催し物や模擬店を多数準備しています。

お誘い合わせの上、是非ご来場ください。

お待ちしております。

●高齢者福祉施設相談員研修会  
生活相談員 阿南史紀

8月21日に大分県社会福祉介護研修センターで行われた高齢者福祉施設相談員研修会に参加しました。

今回の研修は、他職種連携の時代における利用者への良質な介護サービスを提供するためのマネージメント術やチームケアにおける役割について学ぶ事を目的とした内容でした。相談員は、ソーシャルワーク（社会的な問題の解決を援助する社会福祉実践）を行う専門職といえます。

昔のソーシャルワークが担うのは、「貧困問題」と明確でしたが、現在は高齢化率が上昇するなかで、医療面・介護面・経済面など様々な要因が重なり、一つの専門職だけでは対応できない時代となりました。他職種連携を行っていく中で、相談員の立場は曖昧なものになります。曖昧な立場にシレンマを抱える者も多く、ストレスマネージメントが大切であることも講義を通じて学びました。

チームケアを行う相談員の役割として、交渉や弁護の技法を身につけていくことが求められます。コミュニケーションのなかで、相互の思いに寄り添い、意見を聞くことが出来るように取り組んでいきたいと思えます。職種は違っても、ご利用者への支援の目標は同じ。施設の中では、よりよい支援を行っていくるように、各職種が知恵を出し合い、

チームとして取り組んでいく必要ががあります。今回の研修で学んだこと実践していけるように努めていきたいと思えます。

内部研修報告

月に1回、グループホームと合同で職場内研修を行っています。

●7月のテーマ

『事故防止・対応 マニュアル』  
事故防止基本事項、体制、また、事故発生後の対応と報告について

●8月のテーマ

『人権と人権侵害』  
差別と区別の違い、差別発生のメカニズム、人権問題について

●9月のテーマ

『介護施設におけるスピーチロックについて』  
「馴れ合い」の関係への留意、サービスマナー向上の取り組みの実態、社会福祉実践の価値観の共有、社会福祉の理念と行動規範について

『看取りの基本方針・看取り体制』(資料配布)

編集後記

猛暑が続いた夏も終わり、早朝の肌寒さと澄み渡る青空に秋の訪れを感じる今日この頃。秋は、実りの秋と言われ、食べ物にまつわる諺が沢山あります。

『秋茄子は嫁に食わずな』と良く聞く諺にもいくつかの考え方があります。

ひとつは、「こんなに美味しいものを嫁に食べさせるのはもったいない」と言う意地悪。それに対して、「茄子は体を冷やす食べ物。もし妊娠していたら体を冷やすと良くないから」と言う優しさ。

ひとつの表現や出来事も自分の受け取り方次第でプラスにもマイナスにもすることが出来ます。心の中をプラスで沢山にして、秋の空のように気持ちよく過ごしたいものです。

職員募集

～ 私たちと一緒に働きませんか ～



●グループホーム

◇介護職員（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 10:30～19:30
- ③ 16:30～ 9:30
- ①～③のローテーション
- ・食事、介助、入浴介助、レクリエーション等

●ヘルパーステーション

◇ホームヘルパー

- 9:00～18:00の間の2時間以上
- ・高齢者宅における身体介助、日常生活支援

◇看護師（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 9:00～18:00
- ③ 10:00～19:00
- ①～③のローテーション
- ・看護師免許（正・准）の何れか
- ・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

◇看護師（パ）

- ① 7:00～11:00
- ・看護師免許（正・准）の何れか
- ・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

●特別養護老人ホーム

◇介護職員（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 13:00～22:00
- ③ 22:00～ 7:00
- ①～③のローテーション
- ・食事、介助、入浴介助、レクリエーション等

◇宿直

- 17:30～ 8:30
- ・巡視及び点検、記録業務
- 施設犬の世話等

お願い

冬季のインフルエンザ等感染症対策として、ご面会の皆様に「マスク着用」をお願いしています。

また、感染防止のため、以下につきましてもお願いします。

- ・体調の悪い方のご面会は、お控え下さい。
- ・出入りの際に手指消毒をお願いします。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



